

# 沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

## 【現状】

### 新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（9月19日-25日）の新規陽性者数は3,549人（先々週4,559人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)<sup>1</sup>は0.85 [最小値0.40-最大値1.31]、このうち那覇市は0.89 [0.47-1.26]でした。また、宮古は0.64 [0.37-0.93]、八重山は0.68 [0.24-0.68]でした（図1）。

### 保健所管区別

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部207人（先々週282人）、中部1,236人（先々週1,443人）、那覇市791人（先々週927人）、南部1,132人（先々週1,583人）、宮古85人（先々週139人）、八重山63人（先々週139人）でした（図2）。感染を確認した県外からの渡航者（7日間合計）は31人（先々週44人）でした（図3）。

### 年齢階級別推移

年齢階級別では、先々週に引き続き10代677人（19%）と最多でした。40代549人（16%）、30代506人（14%）と続きます（図4）。すべての年代で減少していますが、その速度は鈍化してきています（図5）。

### 入院患者数推移

入院患者数は先週末時点で227人（9月18日時点308人）であり、病床占有率は23.7%にまで

低下しています。今年4月以来の水準となっています。このうち酸素投与など中等症患者は112人（9月18日時点159人）、気管挿管など重症患者は2人（9月18日時点8人）と減少が続いています（図6）。

高齢者施設や障がい者施設など社会福祉施設で療養している陽性者は、先週末時点で25施設156人（9月18日時点262人）と減少が続いています（図7）。

### 医療機関における集団感染

2022年1月より8月までに、県内の医療機関において、県の施設支援班により支援が行われた入院患者5人以上の集団感染となった事例が82件ありました。主な医療機能別にみる内訳は、急性期12件751人（患者370人、職員381人）、回復期17件897人（患者487人、職員410人）、慢性期24件771人（患者494人、職員277人）、精神29件1,361人（患者952人、職員409人）であり、合計で3,780人（患者2,303人、職員1,477人）に及びます（図8）。

急性期病院の多くが自施設で対応できているため集団感染が把握されておらず、この集計に含まれていないことに留意が必要ですが、精神および慢性期の病床において集団感染の規模が大きくなる傾向があり、急性期では職員数が多いこともあり感染者数も増加しています。

<sup>1</sup> 最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[ ]内は、直近7日間における

日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

## 【今後の見通しと対策】

沖縄県における新規陽性者数は、すべての地域で減少が続いており、全県的には第5波が始まる前の1月初頭の水準となっています。入院患者数や高齢者施設における療養者数も減少しており、総合的にみて医療や介護のひっ迫状態は改善しています。今週の新規陽性者数は、2,200-3,000人と見込まれます。また、今週末までに入院患者数は140-160人へと減少すると見込まれます（図9）。

ただし、前週比でみると徐々に上昇してきており、急速な減少は認めなくなりつつあります（図10）。とくに、アクティブな10代、20代では下げ幅が弱まっていることから、昨年のように収束することはなく、このまま一定の流行が持続するものと考えられます。一定の感染対策を維持しながら、社会活動を再開必要があります。

高齢者施設などで面会を制限し続けることは、高齢者の身体的・心理的・社会的な衰えをもたらす恐れがあります。沖縄県内の流行状況は改善しつつあるため、できるだけ入居者と親しい人との面会が実現するようにしてください。

手指衛生やマスク着用など基本的な感染対策をとり、屋外もしくは指定された場所であれば、安全な面会は可能となります。なお、双方がマスクを着用しているのであれば、アクリル板の設置は不要です。むしろ、アクリル板があることで声が届きにくくなり、大声を出すことでエアロゾル発生リスクが高まるので注意してください。

高齢者施設の入居者と訪問者の双方がワクチン接種を最新の状態とするよう施設側からも呼びかけてください。また、訪問者には、面会后7日間は体調を確認し、何らかの症状を認めるときは検査を受けるように求めましょう。

なお、沖縄県内におけるインフルエンザの定点報告数は、9月12日の週には32人（北部1人、中部16人、那覇市8人、南部6人、宮古0人、

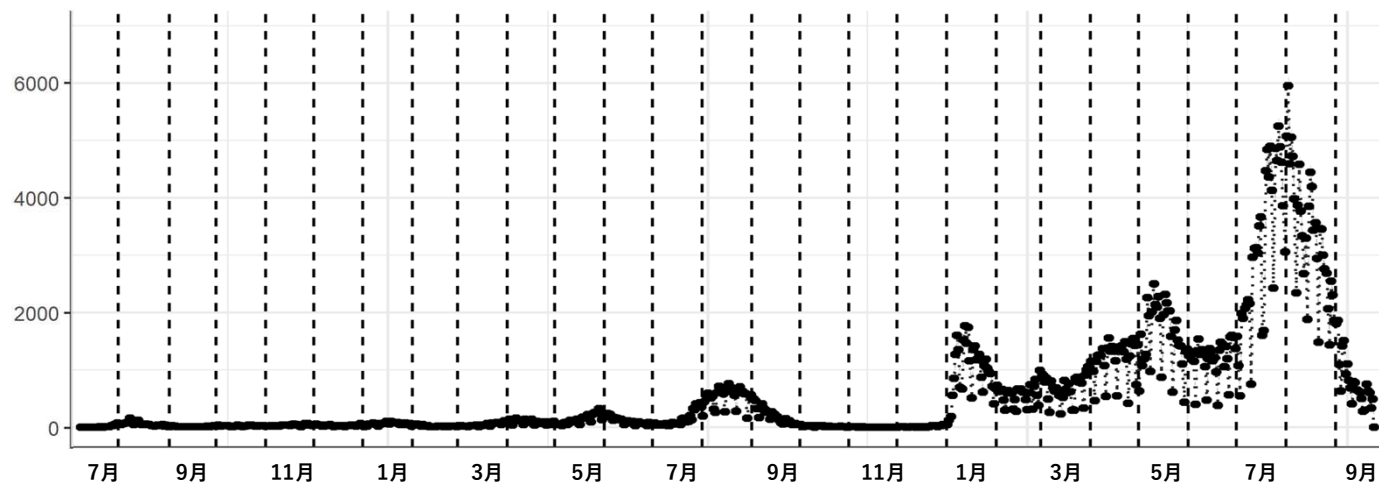
八重山1人）と横ばいで推移しています。現時点で感染拡大の兆候は認めませんが、県内中南部においてインフルエンザの流行は始まっています。

# 図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

## 陽性者数 (確定日)

日あたり観察値

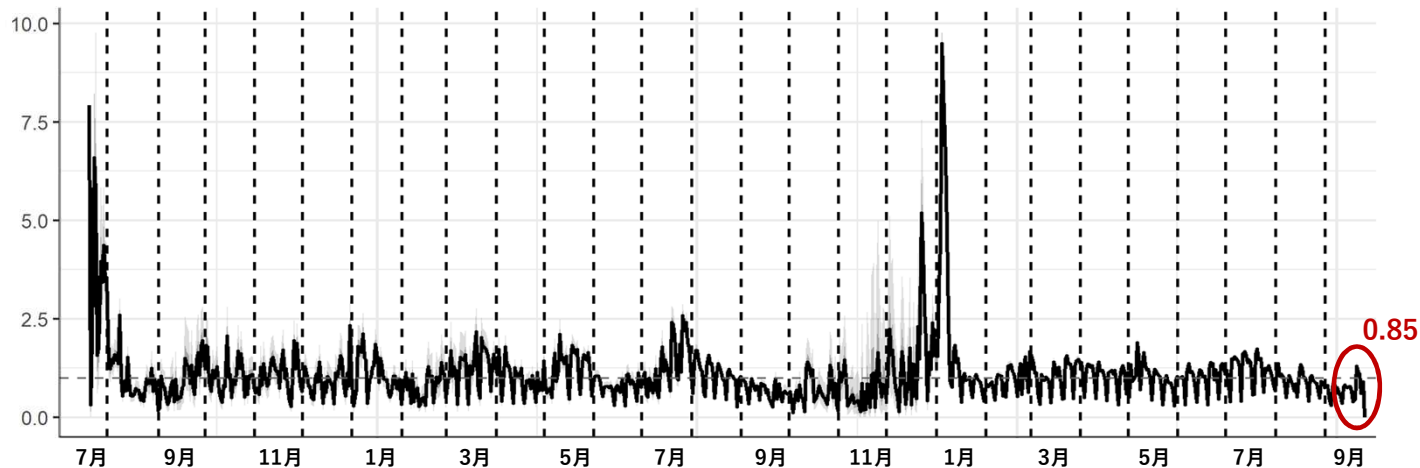
北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)



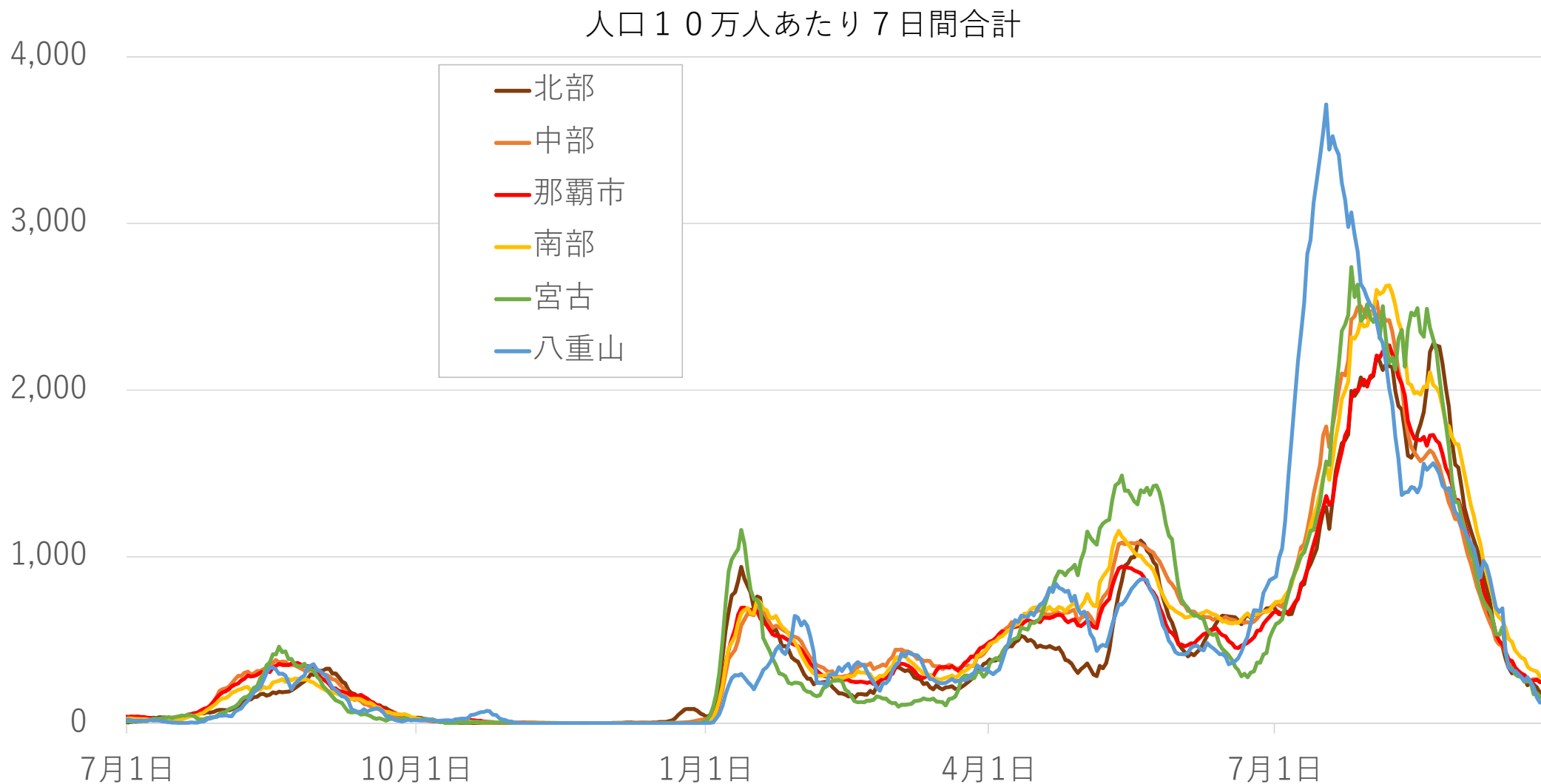
## 実効再生産数

直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)



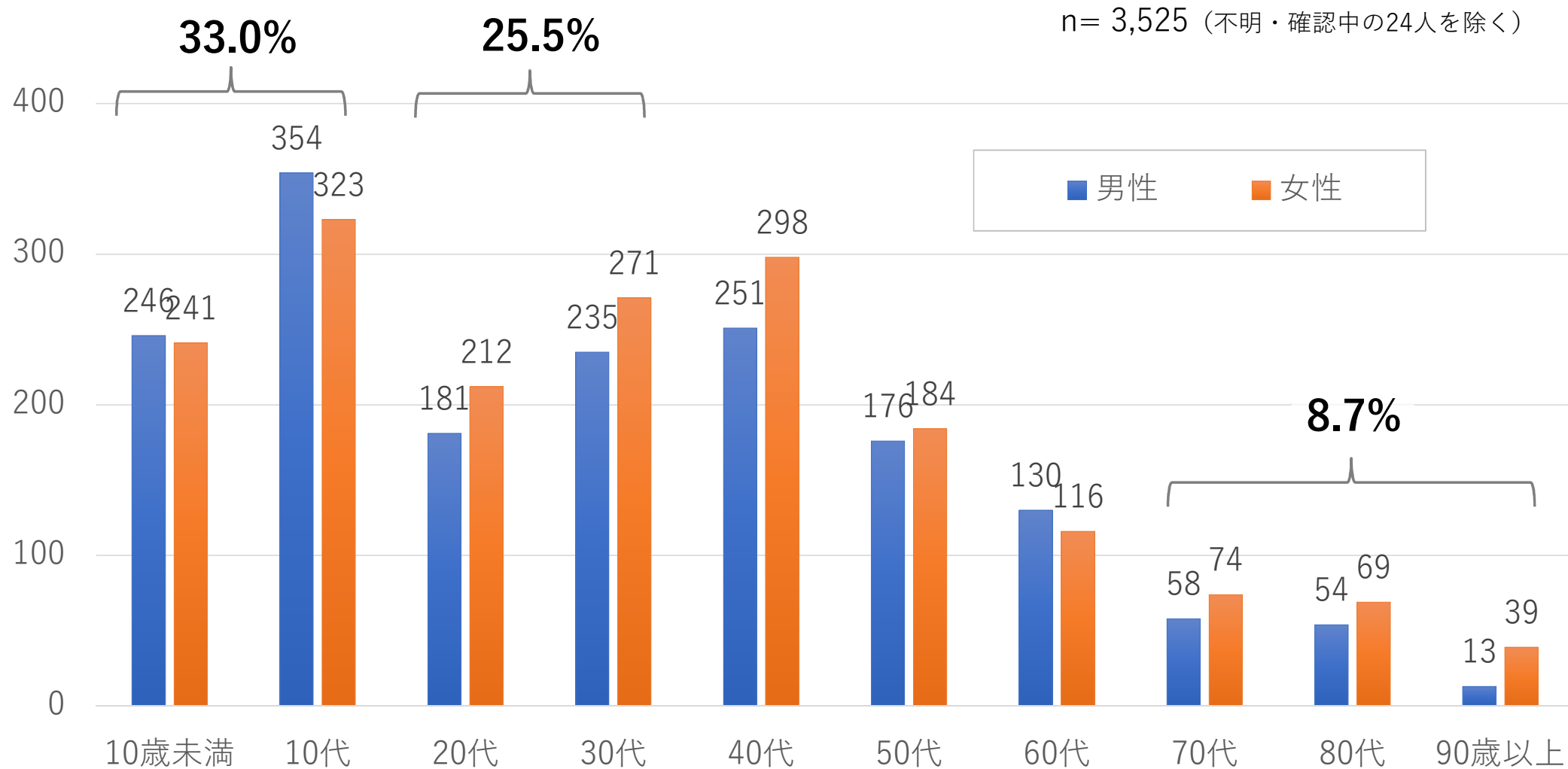
## 図2 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）



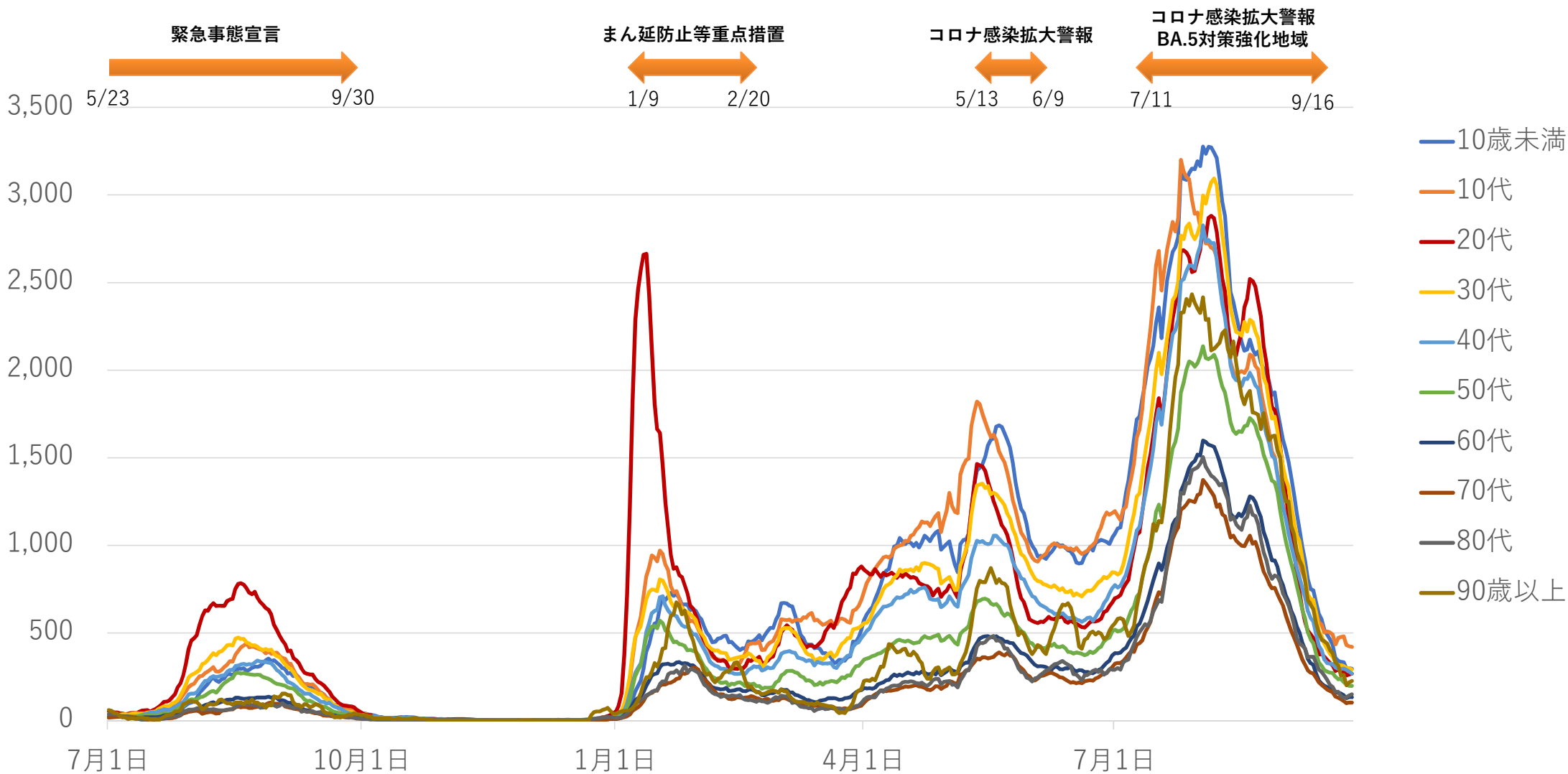
# 図3 県外からの渡航者における新規陽性者数の推移（沖縄県）



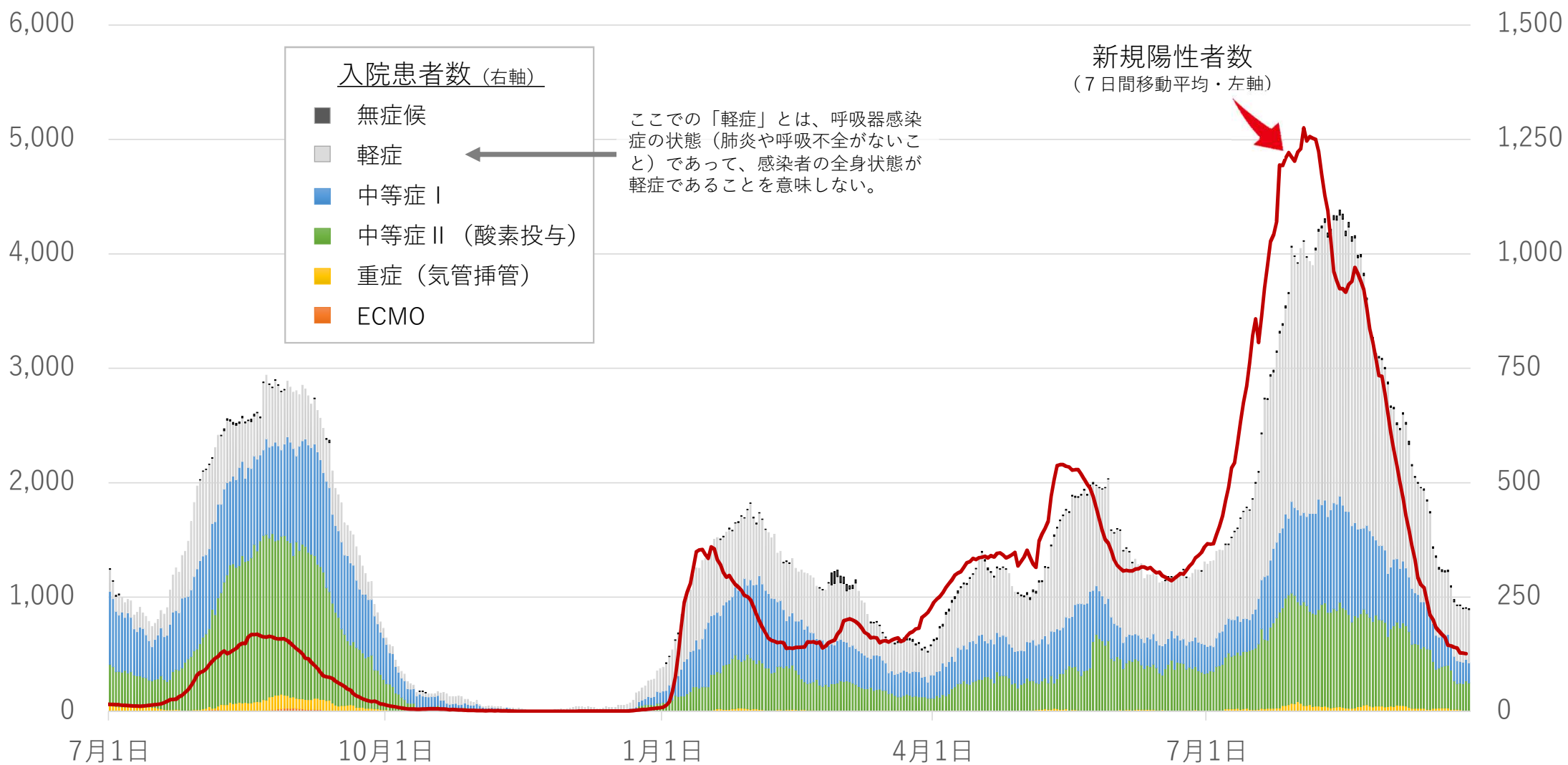
# 図4 性年齢階級別に見る陽性者数 (9月19日~25日)



# 図5 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

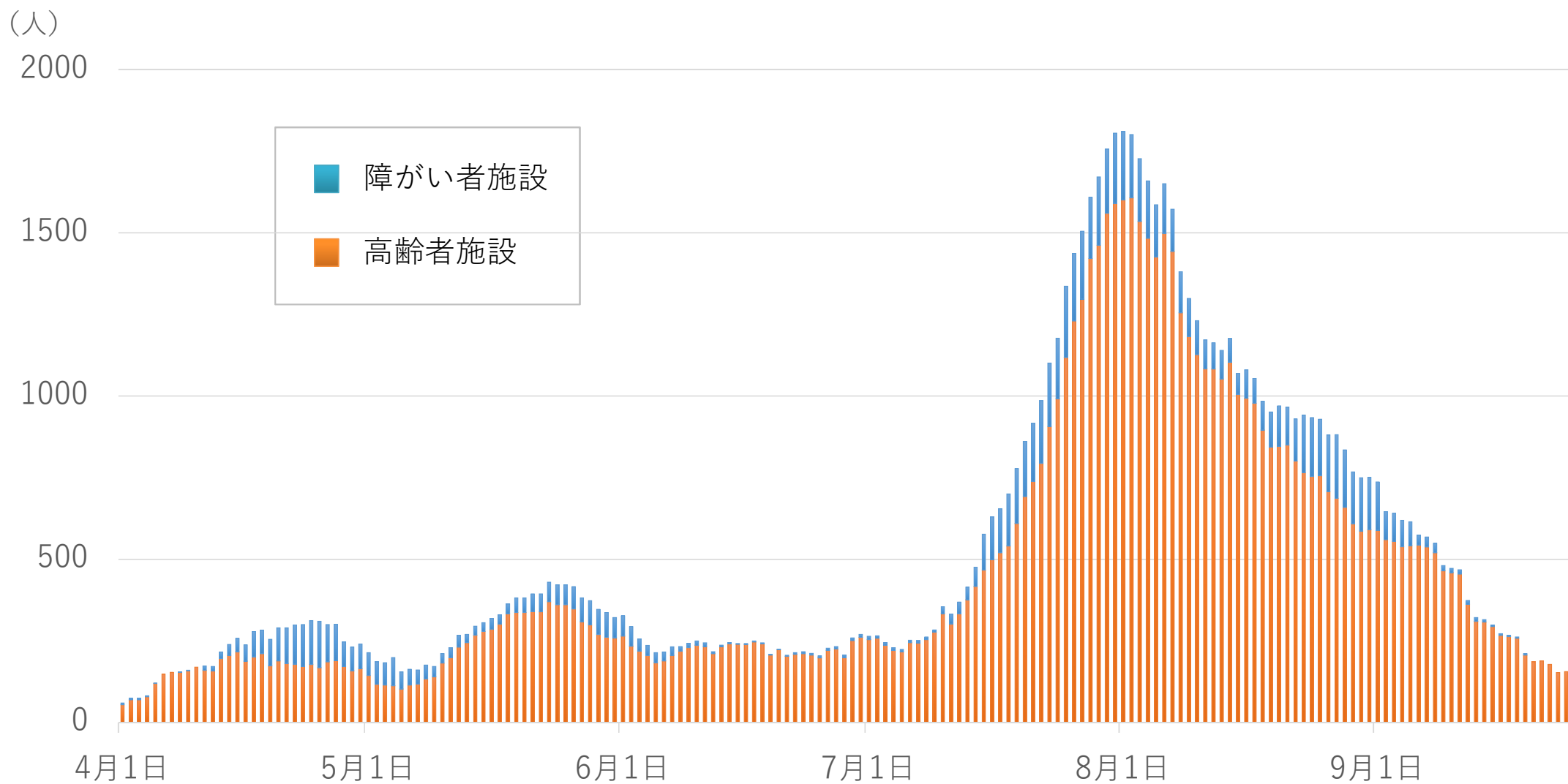


# 図6 新規陽性者数と重症度別入院患者数の推移



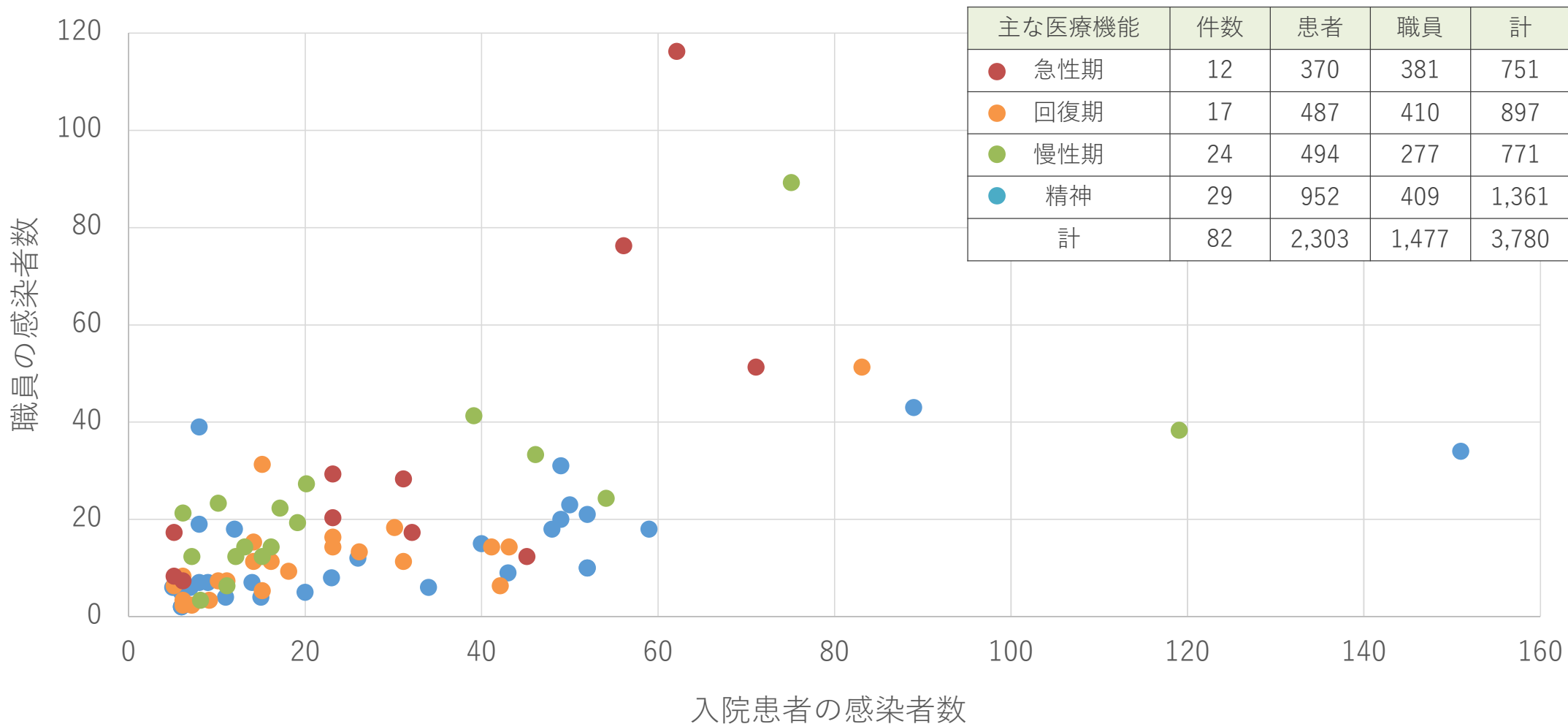


# 図7 社会福祉施設における施設内療養者数



# 図8 医療機関における集団感染と医療機能

2022年1月より8月までに施設支援班により支援が行われた入院患者5人以上の集団感染となった事例  
 (急性期病院の多くが自施設で対応できているため把握されていない)



## 図9 今後1週間（9月26日-10月2日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県  
 年齢群別重症化率； 厚生労働省  
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

	新規陽性者数（確定日）			入院患者数（10月2日時点）		
	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
実効再生産数	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
沖縄本島	1,672	3,367	6,780	131	150	180
宮古圏域	41	83	167	2	3	3
八重山圏域	32	65	131	6	6	7
合計	<b>1,745</b>	<b>3,515</b>	<b>7,078</b>	<b>139</b>	<b>159</b>	<b>191</b>

# 図10 沖縄県における前週比（7日間移動平均）の推移

